

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	院外処方箋への検査値印字が腎排泄型薬剤の処方に与える影響：レボフロキサシンを用いた後方視的検討		
1. 研究の目的と方法	この研究は、腎機能が低下している患者さんに処方されたレボフロキサシン（抗菌薬）について、院外処方せんに検査値（eGFR）を印字する仕組みが、用量の違い（過量処方）をどの程度防げるかを調べるものです。具体的には、過去の診療記録（カルテ）や処方履歴を用いて、患者さんの年齢や性別、腎臓の働き（eGFR）などを確認し、適切な用量が選ばれているかを分析します。この研究を通じて、腎機能の低下に応じた安全な薬の使い方を進め、患者さんの負担や副作用のリスクをより減らせるよう役立てたいと考えています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2015 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に葛飾医療センターでレボフロキサシン錠または先発品のクラビット錠の院外処方を交付された方		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、身長、体重、臨床検査値、処方歴	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 薬剤部
		氏名	伊東 充
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 薬剤部 高橋 真一	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 6 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 薬剤部 研究責任者：薬剤師 伊東 充（イトウ ミツル） 電話番号：03-3603-2111（内線 5339） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。